

令和8年度 西予市地域包括支援センター 事業計画

1 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。

そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援する。

2 長期目標

地域包括ケアシステムの推進強化に向けて保健・医療・福祉・介護の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの推進に努め、共生社会の実現を目指す。

3 短期目標

- 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、介護予防、重度化予防を意識した支援を行う。
- 保健・医療・福祉などの関係機関や地域とも連携し、切れ目のない支援体制を構築していく。
- 地域包括ケアシステムを意識して顔の見える関係性を強化し、親切ていねいにワンストップで迅速な相談対応を行う。

4 事業別計画

事業名	目 標	実施事業計画
総合相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチと多職種連携により、効果的かつ迅速な相談対応を実践する ・総合相談窓口の周知と地域連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談対応 ・困難事例の課題解決のための個別会議を開催 ・相談内容の整理・分析による実態把握 ・関係機関（民協等）や住民向けに広報・周知を行う
権利擁護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待と消費者被害の防止に向け、専門職の理解促進と早期発見・早期対応体制の充実を図る ・福祉総合相談センターおよび中核機関と連携し、成年後見制度の啓発および利用支援を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・法テラス愛媛弁護士との事例検討会（5月・8月・11月・2月 年/4回） ・権利擁護研修会（専門職対象）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ① 成年後見について（7月/1回） <ul style="list-style-type: none"> *介護支援専門員連絡会と兼ねる ・権利擁護研修会（市民対象）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ② 任意後見（終活）について（11月/1回） ・エンディングノートの普及（上記研修会時配布・随時） ・権利擁護窓口の周知（広報等）を行う ・権利擁護窓口としての実働

<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や民生児童委員協議会等、多機関、多職種との連携強化や地域のネットワークづくりを意識した取り組みを実践する ・ヤングケアラーや精神疾患、生活困窮など複合的な事案も増え、課題も多様化しており、高齢者以外の家族の支援が求められるケースが増えているため、制度のことなど家族の支援の対応力を学ぶ。 ・地域に根ざした支援体制の強化のため、民生児童委員と顔の見える関係構築を図る ・介護支援専門員のケアマネジメント力向上と後方支援の充実を図る ・多機関・多職種とのネットワークを活かした自立支援型の地域ケア個別会議を充実させる ・地域包括ケアシステムの構築機関の共通媒体としてのICT（kintone）運営において、効果的な活用と利用の定着を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ◎主任介護支援専門員連絡会の定期開催（年4回） <ul style="list-style-type: none"> ① 事例検討会の実施（生活困窮など困難事例をテーマに実施する） 年2回 実施 ② 介護支援専門員と民生児童委員との交流会の企画、運営について ③ テーマ：「家族支援について考える」 ◎介護支援専門員連絡会の定期開催（年4回） <ul style="list-style-type: none"> ① 介護支援専門員と民生児童委員との交流会の開催（各地区） ② テーマ：適切なケアマネジメント手法の理解 ③ テーマ：疾患別ケアマネジメント5疾患についての理解を深め、ケアマネジメントに生かす手法を学ぶ（在宅医療・介護連携推進事業の研修会と合同） ④ 成年後見制度について（権利擁護事業研修会と合同） ・ケアプランチェック（市に同行）と課題の整理と対策（実施においては市との相談） ・地域ケア個別会議を開催（1回/2ヶ月）し、地域課題の抽出と整理を行う ・OJTの課題は介護支援専門員連絡会等で周知し、改善を図る ・kintone 運営委員会の開催（1回/年） ・個人情報保護について研修会（1回/年） ・新規ユーザー操作説明会の実施 ・業務改善を目的としたアプリの有効活用の更なる周知 ・地域づくり活動センターの積極的な活用によるイベント情報などの広報活動や地域福祉関係者との連携などの推進 ・高齢者サービスガイドブックの作成とガイドブックを用いて多機関へ地域包括ケアシステムの講話を行う ・「地域医療学」学生実習の受け入れ
----------------------------	--	--

<p>認知症 総合支援 事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、早期診断・早期対応支援を行なう ・認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域支援体制づくりを行なう 	<p>【認知症初期集中支援チームの活動】 (おれんじ支援チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おれんじ支援チームの周知 (医療機関、調剤薬局、居宅介護支援事業所、地域づくり活動センターに対して) ・おれんじ支援チーム作業部会開催(1回/月) (認知症相談の整理や支援内容を協議) ・認知症対策検討会出席(1回/年) (活動状況報告、課題の提示) <p>【認知症地域支援推進員の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応 (認知症の人やその家族の声を聴く) ・連携支援 (医療・介護・地域資源との連携) ・認知症総合支援事業作業部会出席(5回/年) (「認知症の人の声を聴く」より課題抽出、対応策検討) ・認知症カフェの運営の支援 (「花草家」:第2・4金曜日、定例会(2回/年:6月、3月)、視察研修(1回/年)) ・地域住民への普及啓発 (認知症月間(9月)での周知、高齢者の集いの場での認知症講話) ・認知症サポーター養成講座の実施
<p>在宅医療・介護 連携推進 事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護の連携場面(4つの場面)に加えて、認知症・感染症・災害時対応等の局面において、連携の課題の抽出や整理、対応策の検討 ・在宅緩和ケアの推進 ・住民及び医療・介護関係者に対してACPの普及啓発 ・在宅医療・介護連携支援センターとしての相談窓口でもあることの周知強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議や個別相談より課題抽出 ・医療介護連携会議(1回/年:3月予定)にて目指すべき姿を共有し、具体的な対策の実践 ・介護支援専門員、地域連携室職員対象に各アンケートを実施(回収率100%)し、現状把握と報告 ・有床医療機関との連携会議(1回/年) ・「看取り」のカタチをつくる会(4回/年:4月、7月、10月、1月予定)にて在宅緩和ケアの推進のための体制強化と社会資源等の整備 ・在宅緩和ケア事例検討会(3回/年:6月、9月、12月予定) ・ACPに関する研修会:住民対象(11月予定) 「看取り」のカタチをつくる会にて企画運営 ・相談窓口としての実働 医療機関、薬局、居宅介護支援事業所へ周知 医療機関等からの相談件数集計

	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者対象に研修会を開催し知識の習得と連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者を対象とし、専門職間で連携して疾患別に支援を考える研修会(外部講師)の企画開催(1回/年 予定)
介護予防・日常生活支援総合事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援を目的に社会参加を重視したケアマネジメントの実践 ・地域の多様な資源や運動機能維持を目指した支援を組み込んだ介護予防プラン作成 ・健康意識の向上、介護予防につながる支援の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での社会参加や運動機能継続を目標設定とする視点でケアマネジメントを実施 ・ACPを視点に置いたアセスメントの実践 ・口腔ケア、栄養面の支援や認知症予防、フレイル予防等の介護予防につながるプランの実施(地域ケア個別会議の提案等活用) ・ケアマネジメントに必要な、スキル向上を図る研修会への参加
指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能維持を重視し、自立支援を目的としたケアマネジメントの実践を行い、要介護状態への移行を防ぐ ・疾患の重度化予防を意識したケアマネジメントの実践 ・健康意識の向上、介護予防につながる支援の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能維持や、疾患の重度化予防の視点を重視したケアマネジメントを実施 ・ACPを視点に置いたアセスメントの実践 ・口腔ケア、栄養面の支援や認知症予防、フレイル予防等の介護予防につながるプランの実施(地域ケア個別会議の提案等活用) ・ケアマネジメントに必要な、スキル向上を図る研修会への参加
介護予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組み ・生活支援の担い手となる元気な高齢者の社会参加を促進する ・高齢者の食べる力と動ける力の維持向上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組み(ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ)について、保健分野との協働 ・生活支援体制整備事業の作業部会に参加し、関係機関と協働 ・介護予防サポーター養成及び活動の後方支援 ・サロンや集いの場での健康相談・健康教育の実践 ・包括新聞の発行(年2回) ・地域ケア個別会議を活用するなどして、歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ職との連携実施